



2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年8月9日

上場会社名 株式会社フォーラムエンジニアリング 上場取引所 東
コード番号 7088 URL <https://www.forumeng.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役兼社長執行役員 (氏名) 佐藤 勉
問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員 兼 広報・IR部 (氏名) 蓬田 宏樹 TEL 03-3560-5505
ゼネラルマネージャー
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有（アナリスト・機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2025年3月期第1四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	8,528	10.5	1,141	73.2	1,160	75.9	774	74.1
2024年3月期第1四半期	7,720	—	658	—	659	—	444	—

（注）包括利益 2025年3月期第1四半期 917百万円（103.9％） 2024年3月期第1四半期 450百万円（－％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	14.82	14.67
2024年3月期第1四半期	8.61	8.55

（注）1. 当社は、2024年3月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2024年3月期第1四半期の対前年同四半期増減率については記載していません。

2. 当社は、2023年12月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第1四半期	17,772	12,217	66.9
2024年3月期	17,918	13,289	72.4

（参考）自己資本 2025年3月期第1四半期 11,892百万円 2024年3月期 12,967百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	37.50	37.50
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	18.00	—	24.50	42.50

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	16,790	9.7	1,600	25.3	1,590	24.7	1,060	23.8	20.30
通期	34,320	9.7	3,460	14.2	3,450	14.4	2,310	13.2	44.24

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期1Q	53,419,200株	2024年3月期	53,419,200株
② 期末自己株式数	2025年3月期1Q	1,141,780株	2024年3月期	1,200,982株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2025年3月期1Q	52,229,819株	2024年3月期1Q	53,631,067株

(注) 当社は、2023年12月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2024年4月1日～2024年6月30日)におけるわが国の経済は、円安に伴うコスト負担の高まりや個人消費の落ち込みにより足踏みがみられるものの、雇用・所得環境が改善する中で緩やかな回復基調を示しました。中でも、当社主要顧客である大手製造業の景況感、原油価格の下落等でコスト高傾向に歯止めがかかっていることや価格転嫁が進んでいること、また、為替が円安方向に振れていること等から、回復基調が鮮明となっております。

このような環境の下、マーケット全体に慢性的人材不足感が広がっており、当社主力のエンジニア派遣サービスへの需要はコロナ以前の力強さを回復しております。前期から引き続き、派遣エンジニア求人広告の掲載内容の見直しや当社社員によるエンジニア社員紹介制度、退職者のカムバック採用制度等の施策を講じた結果、派遣エンジニアの採用数は前年同期比で増加し、231名となりました。

理工系学生のための就職支援サービスである「コグナビ 新卒」は、当サービスを利用した学生の内定受諾数が増加したことにより、売上高は前年同期と比べて大きく上回りました。

これらの結果により、当第1四半期連結累計期間の売上高は8,528百万円(前年同期比10.5%増)、営業利益は1,141百万円(同73.2%増)、経常利益は1,160百万円(同75.9%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は774百万円(同74.1%増)となり、いずれも前年同期を上回っております。

また、当社は、「スキルがつながる世界へ。」をミッションに掲げ、機械・電機系学生の学びやエンジニアが持つスキルと、企業が求めるスキルとのつながりを、人工知能(AI)によって結びつける、独自のマッチングシステム「コグナビ」各サービスの浸透と拡充に取り組んでおります。当社は機電系エンジニア人材市場において、この「コグナビ」のマッチングテクノロジーを駆使し、エンジニアと企業をスキルでつなぐ世界の実現を目指しております。また、新卒理工系学生の就職支援から、転職、人材派遣、教育まで、エンジニアのすべてのキャリアシーンを、「コグナビ」がサポートしてまいります。

エンジニア派遣サービス「コグナビ 派遣」は、顧客企業の需要に確実に応えるべく、稼働人員数の更なる増加に繋げるため、派遣エンジニアの採用強化に取り組んでおります。当第1四半期連結累計期間末時点の稼働人員数は、前年同期と比べ291名増加し、4,337名となりました。

理工系学生のための就職支援サービスである「コグナビ 新卒」は、理工系新卒学生数である約4万名全てがメーカーに就職し、エンジニアとして働ける世界を実現するため、元メーカーエンジニアの当社社員が講師となり、大学3年生を対象にエンジニアの魅力を伝える「エンジニア職セミナー」を機電系学科のある大学で実施しております。当期は2026年卒の理工系学生を対象としたセミナーを精力的に実施し、新規会員数の獲得に注力しております。当社はこのセミナーを実施することによって培われた大学とのつながりを活かし、第2の収益の柱とすることを目指してまいります。当第1四半期連結累計期間の2025年卒会員数が前年同期3割増となり、当サービスを利用して企業に採用された学生数は当第1四半期連結累計期間末時点で前年同期と比べて1.5倍増加しております。

経験者採用向けエンジニア紹介サービスである「コグナビ 転職」は、「コグナビ 新卒」でメーカーに就職したエンジニアが、やがて転職する際の受け皿となり、この流動機会を捕捉し、中長期には第3の収益の柱とすることを目指してまいります。

エンジニア育成の研修を大学で実施するために両者の連携をサポートするサービス「コグナビ カレッジ」は、大学教授の保有スキルをデータベース化することで、企業のリスキリング需要に沿った専門性の高い研修を、提携大学にて実施しております。当第1四半期連結累計期間の研修受講者数は、前年同期と比べて1.6倍となりました。

また、連結子会社であるCognavi India Private Limitedが運用中のインド初のAI(人工知能)マッチング技術を駆使したジョブポータルサイト「Cognavi(コグナビ)」は、大学や企業のニーズなど、インドの市場環境に合わせたビジネスモデルを現地スタッフが考案し、機電系学生のみならず、すべての学生を対象とした新卒採用メディアとしてビジネス展開を進めております。2024年6月末における学生登録会員数は約6万名となり、有償契約大学数も累計で20を超えるなど、事業規模拡大を進めております。

なお、当社グループはエンジニア派遣・紹介事業の単一セグメントであるため、セグメント毎の業績の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は14,957百万円となり、前連結会計年度末に比べ159百万円減少いたしました。これは主に売掛金が299百万円増加した一方、現金及び預金が475百万円減少したことによるものであります。固定資産は2,814百万円となり、前連結会計年度末に比べ14百万円増加いたしました。これは主にソフトウェア仮勘定が52百万円、ソフトウェアが18百万円減少した一方、使用権資産が84百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は17,772百万円となり、前連結会計年度末に比べ145百万円減少いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は5,465百万円となり、前連結会計年度末に比べ847百万円増加いたしました。これは主に賞与引当金が875百万円減少した一方、未払金が1,918百万円増加したことによるものであります。固定負債は88百万円となり、前連結会計年度末に比べ78百万円増加いたしました。これは主にリース債務が72百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は5,554百万円となり、前連結会計年度末に比べ926百万円増加いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は12,217百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,071百万円減少いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益774百万円を計上した一方、剰余金の配当1,958百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は66.9%（前連結会計年度末は72.4%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今期の連結業績予想につきましては、2024年3月期決算短信発表時点で公表しました予想より変更ございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,006	10,531
売掛金	3,959	4,258
その他	151	167
流動資産合計	15,117	14,957
固定資産		
有形固定資産	417	496
無形固定資産	1,157	1,086
投資その他の資産		
その他	1,225	1,231
投資その他の資産合計	1,225	1,231
固定資産合計	2,800	2,814
資産合計	17,918	17,772
負債の部		
流動負債		
未払金	800	2,719
未払法人税等	796	424
賞与引当金	1,726	850
役員賞与引当金	—	4
その他	1,294	1,466
流動負債合計	4,618	5,465
固定負債		
リース債務	6	79
その他	3	9
固定負債合計	9	88
負債合計	4,628	5,554
純資産の部		
株主資本		
資本金	117	117
資本剰余金	129	129
利益剰余金	13,242	12,050
自己株式	△568	△534
株主資本合計	12,921	11,762
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	46	130
その他の包括利益累計額合計	46	130
非支配株主持分	322	324
純資産合計	13,289	12,217
負債純資産合計	17,918	17,772

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
売上高	7,720	8,528
売上原価	5,390	5,816
売上総利益	2,329	2,711
販売費及び一般管理費	1,671	1,570
営業利益	658	1,141
営業外収益		
受取利息	—	19
未払配当金除斥益	2	0
その他	1	1
営業外収益合計	3	21
営業外費用		
支払利息	1	0
シンジケートローン手数料	0	0
その他	0	0
営業外費用合計	2	2
経常利益	659	1,160
特別損失		
固定資産除却損	—	0
特別損失合計	—	0
税金等調整前四半期純利益	659	1,160
法人税等	219	402
四半期純利益	439	757
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△4	△16
親会社株主に帰属する四半期純利益	444	774

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益	439	757
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	10	159
その他の包括利益合計	10	159
四半期包括利益	450	917
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	453	893
非支配株主に係る四半期包括利益	△2	24

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

当社グループは、エンジニア派遣・紹介事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

当社グループは、エンジニア派遣・紹介事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	100百万円	98百万円